



森と水の源流館 だより

May, 2010 vol.89

電話) 52-0888 fax) 52-0388 (水曜休館)

残しておきたい川上村の山言葉 其の五「あて」

意味:木の裏側。谷に面しているほう。材質としては堅くて、悪い。木が傾いて材質が悪くなることを、アテガヘルと言う。⇔対>マミ

※川上村の方言の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。

5/16

日曜日

吉野川紀の川源流まつり

場所：大滝ダムサイト（望郷の碑）周辺

時間：10:00～15:00

今年は役場主催でより盛大に！森と水の源流館はとっても楽しい“川辺の運動会”を担当します！時間は13:00～14:30を予定。ダムができる前は河原はたのしい運動会の場所！なつかしい思い出いっぱい競技をおたのしみに！



今年の“川辺の運動会”は・・・

- ・どこへ行くやら ラガーレース
- ・愛のふうせんわり劇場
- ・み～んなべっぴん！舞妓さん競争（人気No.1！）

などなど、楽しいレース（内容は当日のお楽しみに）で、豪華（かもしれない）景品をかけて競います。参加は当日受付（多数の場合は抽選）しますので、どしどし、ご参加下さい。

5/22(土) 吉野川紀の川しらべ隊「野鳥をしらべよう」

- 時 間：10:00～16:00
- 定 員：20名 小学生～
- 参加費：大人1,500(1,000)円

6/6(日) もりみず探検隊「後南朝ゆかりの金剛寺を歩く」

- 時 間：9:30～16:30
- 定 員：20名 小学生～
- 参加費：大人4,000(2,800)円／小中高2,000(1,000)円

※お申し込み・お問い合わせは、森と水の源流館まで

※()内の料金は源流人会会員割引価格

※小学生以下の参加は保護者の参加も必要

☆ボランティアでお手伝いいただける方も募集しています。

まだ間に合うイベント案内▶

4/25（日） 水源地の森ツアー、今年もはじまりました

今年も「吉野川源流－水源地の森」をめぐるガイドツアー「水源地の森ツアー」がはじまりました。今は川上村の村有林として大切に守られている三之公の原生林「吉野川源流－水源地の森」にも平成11年に村が買い上げるまでは伐採の危機がありました。未来の子どもたちにも川上村の貴重な自然環境を残せるように、その大切さを参加者に伝えていきたいと思ひます。

今年には特に生物多様性条約締約国第10回会議（COP10）が10月に名古屋で開催されます。日本は議長国としてリーダーシップを発揮して、地球の生き物たちと持続可能な社会を作るためのこの大切な会議をまとめる役割を世界中から期待されています。

COP10など環境問題は、遠くの人のやっている遠い世界のことと思われがちですが、そうではありません。環境問題をふくめ、色々な社会問題に最近「Think Globally, Act Locally（シンク・グローバリー、アクト・ローカリー：広い世界を意識し、身近な地域で活動する）」ということが合い言葉になりつつあります。私たちも水源地の村づくりの取り組みの一つとして行っている水源地の森ツアーなどの環境教育が川上宣言のように「地球環境への人類の働きかけのすばらしい見本」になるように取り組んでいきます。

定例のツアーは7/3（土）、10/30（土）にもあります。お手伝いいただける方も広く募集していますので、お気軽にお問い合わせ下さ



↑まずは三之公林道終点で山の神様にお参りをします。



↑三之公といえば生きた化石トガサワラ。この木がなぜ川上村で生き続けたのか？そんなお話もします。



↑カメノコテントウ



↑トチノキの赤ちゃん



↑この日は明神の滝へまわって、滝も鑑賞しました。チャートでできた岩が残ったのがこの滝です。

